

■コース概要

・募集対象コース一覧 [知識等習得コース (21 コース)] (8 年度 5 月～9 月)

番号	訓練科 (コース) 名	仕様 番号	特 記 事 項	開講月	訓練 月数	定員 (人)
1	基礎から学ぶオフィスソフト科	①	子育て応援優先枠あり	5 月	3	15～25
2	生成 A I の利活用も学べるオフィスソフト科	④	デジタル系		3	15～25
3	介護サービス (実務者研修)	⑥			6	15～25
4	自由提案コース①	⑦ー 1	専門事務系		3～4	15～25
5	自由提案コース①	⑦ー 1	専門事務系		3～4	15～25
6	自由提案コース②	⑦ー 2	デジタル系		3～4	15～20
7	実践オフィスソフト科	②		6 月	3	15～20
8	Web クリエータ科	③	WEBデザイン		3	15～25
9	介護サービス科 (初任者研修)	⑤			2～3	15～20
10	自由提案コース①	⑦ー 1	専門事務系		3～4	15～25
11	自由提案コース③	⑦ー 3	その他 (介護を除く)		3～4	15～20
12	基礎から学ぶオフィスソフト科	①	子育て応援優先枠あり	7 月	3	15～25
13	自由提案コース①	⑦ー 1	専門事務系		3～4	15～25
14	自由提案コース②	⑦ー 2	デジタル系		3～4	15～20
15	実践オフィスソフト科	②		8 月	3	15～20
16	自由提案コース①	⑦ー 1	専門事務系		3～4	15～25
17	自由提案コース③	⑦ー 3	その他 (介護を除く)		3～4	15～20
18	基礎から学ぶオフィスソフト科	①	子育て応援優先枠あり	9 月	3	15～25
19	生成 A I の利活用も学べるオフィスソフト科	④	デジタル系		3	15～25
20	介護サービス科 (初任者研修)	⑤			2～3	15～20
21	自由提案コース①	⑦ー 1	専門事務系		3～4	15～25

※ 自由提案コースの専門事務系のコース種別は「経理会計」「労務」「医療」とする

専門事務系中の各コースの最大開講月数は3とし、同一月に複数を開講する場合には異なるコースとする

※ 自由提案コースは、名称・訓練内容・期間・定員等を事業者が提案

訓練コース概要①

区 分		知識等習得コース オフィスソフト/事務系（基礎コース）	期間・時間	3 か月 3 2 4 時間
訓練科名		基礎から学ぶオフィスソフト科【子育て応援枠あり】		
主な対象者		◆ 業務経験は豊富であるが再就職に向けて、I Tスキルを身につけスキルアップを目指す者 ◆ パソコン操作が苦手でオフィスソフトの基本操作に不安を感じている者		
受講条件		特になし	定 員	1 5 ～ 2 5 名
訓練概要		■ オフィスソフトの基本コマンドを中心にパソコン系資格試験の取得を目指す ■ 実習作品を用いたプレゼンテーション		
訓練目標		Word、Excel の基本操作の習得（MOS スペシャリストレベル）とプレゼンテーション能力をはじめとするヒューマンスキルの向上を目指す		
仕上がり像		訓練で習得したパソコンスキルをキャリアアップ要素として業種・職種を問わず再就職を目指せる人材		
実施基準	訓練項目	① OS（Windows）の基本操作、インターネット活用 ② Word、Excel、PowerPoint の基本操作と活用方法 ③ 訓練課題（Word もしくはExcel を活用） ④ プレゼンテーション		
	機器等要件	【PC 環境】 ・インターネット環境に対応していること ・セキュリティ対策が十分取られていること ・訓練期間中有効な Office のバージョン		
	その他の条件	・受講中訓練修了までに京都府マザーズジョブカフェ等のセミナー等の受講を勧奨する。（勧奨するプログラムは当校より提供）（詳細は仕様書 P13～14 参照） ・保育ルームの設置（託児児童数 2 名）（詳細は仕様書 P13～14 参照） ・提案書にデジタルリテラシーに関する訓練内容を記載するとともに、別紙「デジタルリテラシーを含むカリキュラムチェックシート」の該当項目にチェックの上添付すること		
策定ポイント		・パソコン基本操作、オフィスソフト基本操作に終始せず、実践的な取り組み課題を提供すること ・「技術的なねらい」「実務における応用技術」を明確にした課題設定すること ・対象者のレベル差を吸収し、工夫した内容（課題設定等）や指導方法とすること		

訓練コース概要 ②

区 分		知識等習得コース オフィスソフト/事務系（活用コース）	期間・時間	3 か月 3 2 4 時間
訓練科名		実践オフィスソフト科		
主な対象者		◆ 基本レベルのパソコンスキルを有する者 ◆ 基本的な I T スキルは有しているが、実務的テクニカルスキル（応用力）が不足している者		
受講条件		特になし	定 員	1 5 ～ 2 0 名
訓練概要		■ オフィスソフトの基本操作が身についている者に対し、職場で活用できるオフィスソフトスキルの付与 ■ 企画・調整能力の向上を目指すため、グループ作業の導入 テーマ（課題）に則したポートフォリオ作成及び発表会の実施		
訓練目標		・ I T 技術の進歩、事務系業務の多様化に伴い、高いテクニカルスキルが必要 ・ オフィスソフト間の連携、用途に応じたオフィスソフトの使い分け、簡易版 DTP 作業など、多岐にわたる業務に応じたドキュメント作成およびパソコンスキルの習得を目指す		
仕上がり像		オフィスソフト全般の利活用ができ、業種・職種に関わらず一般事務・営業事務等の事務系職種に就労できる人材		
実施基準	訓練項目	① Word、Excel、PowerPoint の活用 ② 訓練課題 ③ プレゼンテーション		
	機器等要件	【PC 環境】 ・ インターネット環境に対応していること ・ セキュリティ対策が十分取られていること ・ 訓練期間中有効な Office のバージョン		
	その他の条件	・ Word、Excel 指定の課題提供にとどまらず、利活用（ソフトの特徴を理解）ができる課題設定を行い、実務を意識した個人ワーク、グループワークにおける課題提供を行うこと - また、課題制作物はポートフォリオとして就職活動時に活用すること ・ 提案書にデジタルリテラシーに関する訓練内容を記載するとともに、別紙「デジタルリテラシーを含むカリキュラムチェックシート」の該当項目にチェックの上添付すること		
策定ポイント		・ 用途に応じたオフィスソフトの使い分けスキルをどのように提供するか ・ 簡易 DTP 以外の「職場で活用できる I T スキル」の提供ができるか		

訓練コース概要 ③

区 分		知識等習得コース (デジタル資格コース) (DX 推進スキル標準対応コースの併用可)	期間・時間	3 か月 3 2 4 時間
訓練科名		W e b クリエータ科		
主な対象者		◆ 基礎的なパソコンスキルを有する者 ◆ Web ページ作成技術を身に付け、Web 制作業界を目指す者 ◆ 一般職における簡易的な Web 管理を行える事務職を希望する者		
受講条件		特になし	定 員	1 5 ～ 2 5 名
訓練概要		■ Web ページ作成技術 (HTML、スタイルシート) の理解 ■ 最新技術 (HTML、jQuery、JavaScript 等) の活用 ■ 作成ツール (Dreamweaver 等) を利用した実践的作成方法の理解		
訓練目標		Web ページをタグレベルで作成することができ、設計から制作までの一連の作業が行えること Web デザイン関係の資格 (別添参照) 取得を目指す		
仕上がり像		Web ページの作成及び管理、運営における業務に従事できる人材		
実施基準	訓練項目	① HTML、スタイルシート (CSS) の理解とレイアウト構成 ② JavaScript、jQuery の活用 ③ 作成ツールを活用した Web ページ作成 ④ 設計書の作成と課題制作		
	機器等要件	【PC 環境】 ・インターネット環境に対応していること ・セキュリティ対策が十分取られていること ・作成ツールの適正動作環境が確保されていること		
	その他の条件	・ Web ページ作成の制作過程 (企画・設計・制作・発表) を通じて即戦力となる取り組みを実施すること ・ 課題制作を行い作品集 (またはポートフォリオ) として就職活動時に活用できるような課題設定を行うこと ・ DX 推進スキル標準対応コース併用の場合、企画提案時に別紙「スキル項目・学習項目チェックシート」と学習項目に対応する訓練カリキュラムの該当場所がわかる資料等を提出のこと。 ・ 提案書にデジタルリテラシーに関する訓練内容を記載するとともに、別紙「デジタルリテラシーを含むカリキュラムチェックシート」の該当項目にチェックの上添付すること		
策定ポイント		・ 短時間の中で実践的な業務フローを意識した実習とすること ・ 課題制作の取組み方や提示方法を工夫すること		

訓練コース概要 ④

区 分		知識等習得コース デジタル系 (DX 推進スキル標準対応コース)	期間・時間	3 か月 3 2 4 時間
訓練科名		生成A I の利活用も学べるオフィスソフト科		
主な対象者		◆ 基本的なパソコン操作（Excel・Word・PowerPoint の基本操作）が可能で、AI を活用した業務効率化に関心があり、事務系職種への就職を希望する者		
受講条件		特になし	定 員	1 5 ～ 2 5 名
訓練概要		■ AI（以下、生成A I を含む）の基本的な仕組みと活用方法を学びながら、AI を活用したオフィスソフトによる業務効率化スキルを習得する ■ AI ツール（ChatGPT 等）を用いた文書作成やアイデア出しなど、事務職に必要な実践的なスキルを身につける		
訓練目標		■ AI の基本的な考え方と活用方法を理解する ■ Excel でのデータ整理や分析を AI 機能で支援できる ■ Word、PowerPoint での文書作成や資料作成に AI 支援機能を活用できる ■ ChatGPT 等の AI ツールを使って、業務の補助やアイデア出しができる		
仕上がり像		■ AI を活用して日常業務の効率化、業務改善や資料作成ができる ■ Excel・Word・PowerPoint を使った効率的な事務処理ができる ■ 訓練で習得したスキルにより、一般事務・営業事務などの職種において活躍できる		
実施基準	訓練項目	① AI の基礎知識：IT リテラシー、AI の概要、活用事例 ② オフィスソフトの利活用：AI による Word, Excel, PowerPoint の活用技術 ③ AI 活用：業務支援・文書生成・アイデア出し・自動応答 ④ 実務演習：実際の業務課題に対する AI の利活用演習		
	機器等要件	【PC 環境】 ・インターネット環境に対応していること ・セキュリティ対策が十分取られていること ・訓練期間中有効な Office のバージョン		
	その他の条件	・パソコン・オフィスソフト・生成A I 等の基本操作に終始せず、実践的な課題提供を行うこと ・提案書にデジタルリテラシーに関する訓練内容を記載するとともに、別紙「デジタルリテラシーを含むカリキュラムチェックシート」の該当項目にチェックの上添付すること		
策定ポイント		・「技術的なねらい」「実務における応用技術」を明確にした課題設定とすること ・対象者のレベル差を吸収し、工夫した内容（課題設定等）や指導方法とすること		

訓練コース概要 ⑤

区 分		知識等習得コース 介護系	期間・時間	2 か月～3 か月 2 1 6 時間～ 3 2 4 時間
訓練科名		介護サービス科（初任者研修）		
主な対象者		◆ 介護・福祉施設等への就労を希望する者		
受講条件		特になし	定 員	1 5 ～ 2 0 名
訓練概要		■ 介護職員初任者研修（職場実習 5 日間程度含む） ■ 介護に従事する者としての心構えを学び、実践的知識・技能を取得する		
訓練目標		介護職員初任者研修（身体介護及び生活援助）の知識技能を習得する		
仕上がり像		介護・福祉施設の現状を理解し、介護・福祉職員としての心構えを学び、高齢者、障害者に対する理解を深め、演習を通じて、介護の現場でスムーズに対応できる介護技術を身につける。		
実 施 基 準	訓練項目	① 介護職員初任者研修 ② 職場実習 ③ ヒューマンスキル、コミュニケーションスキル		
	機器等要件	【PC 環境】 ・インターネット環境に対応していること ・セキュリティ対策が十分取られていること ・訓練期間中有効な Office のバージョン		
	その他の条件	・介護職員初任者研修認定コースとする ・ヘルパー訓練をバランスよく実施すること （スケジュールを分離しない） ・円滑な人間関係の構築ができるようビジネスマナー等の講習を行うこと ・就職支援として仕上がり像に応じた求人開拓を行うこと。 ・提案書にデジタルリテラシーに関する訓練内容を記載するとともに、別紙「デジタルリテラシーを含むカリキュラムチェックシート」の該当項目にチェックの上添付すること		
	策定ポイント	・認定コースとして定められたカリキュラム以外の特徴（時間数、実践的実習等）を設定すること。 ・定着率向上に向けた取組みを設定すること		

訓練コース概要 ⑥

区 分		知識等習得コース 介護系	期間・時間	6 か月 6 4 8 時間
訓練科名		介護サービス科（実務者研修）		
主な対象者		◆ 介護・福祉施設等への就労を希望する者		
受講条件		特になし	定 員	1 5 ～ 2 5 名
訓練概要		■ 実務者研修課程のカリキュラムを含む講座 ■ 介護に従事する者としての心構えを学び、実践的な知識・技能を習得		
訓練目標		実務者研修課程の修了を前提とし、介護の現場で必要となる知識・技能を習得して、介護・福祉関連の業務に従事することを目指す		
仕上がり像		幅広い利用者に対する基本的な介護提供能力を習得し、医療的ケアに関する知識及び技術の習得を目指す		
実施基準	訓練項目	① 人間の尊厳と自立、② 社会の理解、③ 介護の基本、 ④ コミュニケーション技術、⑤ 生活支援技術、⑥ 介護過程、 ⑦ 発達と老化の理解、⑧ 認知症の理解、⑨ 障害の理解、 ⑩ こころとからだのしくみ、⑪ 医療的ケア		
	機器等要件	特になし		
	その他の条件	・ 実務者研修修了認定コース（認定書写し提出） ・ 介護施設等での現場実習を行う場合、割合が月 9 割以上にならないように実施すること ・ 提案書にデジタルリテラシーに関する訓練内容を記載するとともに、別紙「デジタルリテラシーを含むカリキュラムチェックシート」の該当項目にチェックの上添付すること		
策定ポイント		・ 認定コースとして定められたカリキュラム以外の特徴（時間数、実践的実習等）を設定すること ・ 定着率向上に向けた取組みを設定すること		

訓練コース概要（自由提案コース）⑦－１

区 分	知識等習得コース（ 専門事務系 ）		
コース種別	１．経理・会計コース ２．労務コース ３．医療コース		
訓練期間	３か月 ～ ４か月で提案	訓練時間	３２４時間 ～ ４３２時間 (訓練期間による)
訓練実施時期	開講月は、募集対象コース一覧で示すとおり		
訓練科名	(提案事業者設定) (１５文字程度)		
主な対象者	(提案事業者記載)		
受講条件	・条件設定の場合は明記 ・ない場合は「特になし」とする	定 員	１５ ～ ２５名
訓練概要	(提案事業者記載)		
訓練目標	(提案事業者記載)		
仕上がり像	(提案事業者記載)		
訓練項目	(提案事業者記載)		
機器等の環境	(提案事業者記載)		
その他	・提案書にデジタルリテラシーに関する訓練内容を記載するとともに、別紙「デジタルリテラシーを含むカリキュラムチェックシート」の該当項目にチェックの上添付すること		

(注) () は、提案事業者が記載のこと

訓練コース概要（自由提案コース）⑦－２

区 分	知識等習得コース（ デジタル系 ）		
コース種別	１．DX推進スキル標準対応コース ２．デジタル資格コース（ ・ ①IT 関係資格 ・ ②WEB デザイン関係資格） ３．１及び２併用コース		
訓練期間	３か月 ～ ４か月で提案	訓練時間	３２４時間 ～ ４３２時間 （訓練期間による）
訓練実施時期	開講月は、募集対象コース一覧で示すとおり		
訓練科名	（提案事業者設定）（１５文字程度）		
主な対象者	（提案事業者記載）		
受講条件	・ 条件設定の場合は明記 ・ ない場合は「特になし」とする	定 員	１５ ～ ２０名
訓練概要	※企画提案仕様書「デジタル分野の訓練に係るデジタル訓練促進費について（案）」を参照のこと。		
訓練目標	（提案事業者記載）		
仕上がり像	（提案事業者記載）		
訓練項目	（提案事業者記載）		
機器等の環境	（提案事業者記載）		
その他	・ DX 推進スキル標準対応コースを提案の場合は、企画提案時に別紙「スキル項目・学習項目チェックシート」と学習項目に対応する訓練カリキュラムの該当場所がわかる資料等を提出のこと。 ・ 提案書にデジタルリテラシーに関する訓練内容を記載するとともに、別紙「デジタルリテラシーを含むカリキュラムチェックシート」の該当項目にチェックの上添付すること		

（注）（ ）は、提案事業者が記載のこと

訓練コース概要（自由提案コース）⑦－３

区 分	知識等習得コース（その他（介護を除く））		
訓練期間	３か月 ～ ４か月で提案	訓練時間	３２４時間 ～ ４３２時間 （訓練期間による）
訓練実施時期	開講月は、募集対象コース一覧で示すとおり		
訓練科名	（提案事業者設定）（１５文字程度）		
主な対象者	（提案事業者記載）		
受講条件	・条件設定の場合は明記 ・ない場合は「特になし」とする	定 員	１５ ～ ２０名
訓練概要	（提案事業者記載）		
訓練目標	（提案事業者記載）		
仕上がり像	（提案事業者記載）		
訓練項目	（提案事業者記載）		
機器等の環境	（提案事業者記載）		
その他	・提案書にデジタルリテラシーに関する訓練内容を記載するとともに、別紙「デジタルリテラシーを含むカリキュラムチェックシート」の該当項目にチェックの上添付すること		

（注）（ ）は、提案事業者が記載のこと